

れいわ ねんど だい かい たぶん かきょうせいすいしんかいぎ ぎ じょうろく
令和7年度 第1回 多文化共生推進会議 議事要録

かいぎめい	れいわ ねんど だい かい たぶん かきょうせいすいしんかいぎ 令和7年度 第1回 多文化共生推進会議
にちじ	れいわ ねん がつ にち きん ごぜん じ しょうご 令和7年6月20日(金) 午前10時から正午まで
ばしょ	かみ すし やくしよぶんちようしゃ かい かいぎしつ 神栖市役所分庁舎 2階 会議室2
しゅつせきしゃ	いとういいんちよう さとうふくいんちよう やまだいいん いしづかいん まつもといいん きむらいん いがらしいいん 伊藤委員長、佐藤副委員長、山田委員、石塚委員、松本委員、木村委員、五十嵐委員、 相原委員、浅野委員
じむきよく	いしだしちよう か せきかくぶちよう 石田市長、加瀬企画部長 せいさくきかく か こもりかちよう ながいかちよう ほ さ とよだしゅじ おやけしゅじほ 政策企画課 小森課長、永井課長補佐、豊田主事、小宅主事補
けっせきしゃ	ろいいん 羅委員
ぼうちようしゃ	なし
ぎだいい	いしよくじようこうふ 1 委嘱状交付 かいかい 2 開会 あいさつ 3 じ こしようかい 4 自己紹介 いいんちようおよ ふくいんちよう せんしゅつ 5 委員長及び副委員長の選出 れいわ ねんど たぶん かきょうせいすいしんかいぎ 6 令和7年度の多文化共生推進会議について ぎだい 7 議題 (1) がいこくじんしみん ぼうさいいしきおよ ちしき たか とりくみ 外国人市民の防災意識及び知識を高める取組について だいさん じ かみ すし こくさいかすいしんけいかく しんちよくじようきよう ちゅうかん (2) 第三次神栖市国際化推進計画の進捗状況(中間)について 8 その他 へいかい 9 閉会
はいふしりよう	しりよう かみ すし たぶん かきょうせいすいしんかいぎそく 資料1: 神栖市多文化共生推進会議規則 しりよう れいわ ねんど たぶん かきょうせいすいしんかいぎ 資料2: 令和7年度の多文化共生推進会議について しりよう がいこくじんしみん ぼうさいいしきおよ ちしき たか とりくみ 資料3: 外国人市民の防災意識及び知識を高める取組について しりよう だいさん じ かみ すし こくさいかすいしんけいかく しんちよくじようきよう ちゅうかん 資料4: 第三次神栖市国際化推進計画の進捗状況(中間)について
ぎじないよう	じ いこう 次ページ以降のとおり

議 事

1 委嘱状交付

2 開会

3 あいさつ

4 自己紹介

5 委員長及び副委員長の選出

かみすしたぶんかきょうせいすいしんかいぎそくだい じょうだい こう もと いいん ごせん いいんちよう いたう
神栖市多文化共生推進会議規則第5条第2項に基づき、委員の互選により、委員長には伊藤
委員が選出されました。また、同規則同条第4項に基づき、委員長の指名により、副委員長には
さとう いん せんしゅつ
佐藤委員が選出されました。

6 令和7年度の多文化共生推進会議について

しりょう れいわ ねんど たぶんかきょうせいすいしんかいぎ ぎだい よてい じむきょく せつめい
資料2をもとに、令和7年度の多文化共生推進会議の議題と予定について、事務局から説明し
ました。

7 議題

(1) 外国人市民の防災意識及び知識を高める取組について

しりょう れいわ ねんど たぶんかきょうせいすいしんかいぎ ぎだい よてい じむきょく せつめい
資料3をもとに、外国人市民の防災意識及び知識を高める取組に係る現状、課題及び今年度の
とりくみあん じむきょく せつめい
取組案について、事務局から説明しました。

しつぎおうどうおよ いけんとう
【質疑応答及び意見等】

いいん
委員

ぼうさいちしき じっせん ば そうごうぼうさいくねん がいこくじんしんみん かつよう
防災知識を实践する場として、市が実施する総合防災訓練を外国人市民に活用しても
らう取組について、仕事等で当日参加できない人がいることも想定されるため、総合
ぼうさいくねん じっし ないよう ごじつ し つう はっしん さんか
防災訓練で実施した内容を、後日、市ホームページやSNSを通じて発信し、参加でき
なかった人も閲覧できるようにするとよいと思う。

いいん
委員

そうごうぼうさいくねん ないよう ひろ がいこくじんしんみん し じょうほうはっしん
総合防災訓練の内容について、より広く外国人市民に知ってもらうために、情報発信
をすることは必要な取組だと考えるが、一方で、直接体験してもらう重要性はや
たか おも いっぱんてき たの とくかん かん ことがら きょうみ む
り高いと思う。一般的に、楽しさやお得感を感じられる事柄に興味は向きやすいので、
さんか
参加のモチベーションアップにつながるような仕掛けを考えるといいのではないか
(例えば、防災に関するお土産を用意する等)。

いいん
委員

たの かんてん かみすしこくさいこうりゅうきょうかいどう だんたい かいさい しょくぶんか おんがくどう
楽しさという観点から、神栖市国際交流協会等の団体が開催する食文化や音楽等を
いぶんかりかい こうりゅう さい ぼうさいくねん あわ おこな
テーマにした異文化理解・交流イベントの際に、防災訓練も併せて行うというのはど
うか。

いいん
委員

どうりょう がいこくじんしんみん めずら ふうけい しゃしん どうが と ちじんどうし み あ
同僚の外国人市民は、珍しい風景の写真や動画を撮り、知人同士で見せ合ったり、
とうこう たの にちじょうせいかつ まちか み
SNSに投稿したりして楽しんでいる。そこで、日常生活ではあまり間近で見ることが

ない消防車等を背景に記念写真が撮れることをPRすると、興味を持ってもらいやすいかもしれない。

いいん
委員

市が実施する総合防災訓練では、炊き出し訓練や起震車による地震体験、またVRを使い高齢者目線で地震を体験する等、体験型アクティビティの要素も含まれているが、あくまでも訓練という意識が強い。しかし、他の委員の方々の意見を伺う中で、より多くの市民に興味を持ってもらう防災訓練にするためには、気軽に参加してもらえイベントという視点で捉える意識の変革も必要であると感じた。

いいん
委員

外国人市民には、総合防災訓練の情報が、なかなか届いてこない。例えば、就学児のいる家庭では、児童・生徒が通う学校からの情報は、登録しているメールアドレスに届き、保護者は必ずメールを見ている。総合防災訓練の情報も、学校と連携して配信できたら、より知ってもらえると思う。

いいんちょう
委員長

実際に学校との連携ができるかどうかは分からないが、いい観点であると思う。いずれにしても、情報の周知方法が課題である。

いいん
委員

情報の周知については、方法だけではなく、時期も考慮する必要がある。年間スケジュールとして、いつ頃開催予定なのか目処があるのであれば、早めに周知してもらえると、知り合いの外国人市民に伝えることができ、その人からさらに周囲に伝わっていく。

いいん
委員

総合防災訓練の実施にあたって関係各所との調整が必要なため、周知できるのは、実施の約2か月前くらいだが、さらに半月程度早めることが可能かもしれない。情報提供タイミングを少しでも早められるように努める。

いいん
委員

外国人市民を対象にした防災の取組について話し合っているが、多文化共生の趣旨からすると、外国人市民、日本人市民と分けて取組を考えるのは少し違うと思う。その点を考慮して、今後の取組を考えていくことが大切である。

じおきょく
事務局

ご意見ありがとうございます。事務局としても、国籍を問わず、神栖市民同士で一緒に取り組める防災対策として、市が行う総合防災訓練への参加促進を、今年度の議題にあげさせていただきました。

いいん
委員

特に若い外国人市民にきちんと防災知識や情報が伝われば、災害が起きた時に、その人が、周りにいる他の外国人や日本人、高齢者等を助ける側に回ることができる。その意味では、外国人のための防災の取組は、日本社会全体のための防災の取組という側面もある。

(2) 第三次神栖市国際化推進計画の進捗状況（中間）について

資料4をもとに、第三次神栖市国際化推進計画に掲げている施策について、事務局より説明しました。

【質疑応答及び意見等】

委員 「基本方針1. 多文化共生のまちづくり」の「生活に係るルール等の周知」に関する
こととして、ごみの分別方法の周知が挙げられる。昨年度から分別方法が変わり、
その内容が記載された一覧表を見ながら分別を行っているが、掲載されていない
品目もある等、分かりづらい。日本語に不慣れな外国人市民にとっては、さらに分か
りづらいのではないか。

委員 「神栖市ごみ分別アプリ」を使うと、品目を入力して分別方法を検索できるので、
便利である。ただ、すべて日本語表記のため、ルビ付与またはひらがな表記もあれば、
外国人市民も使用できる。

委員 外国人市民は、母国で使用していたスマートフォンを日本で使用していることが多
く、アプリの仕様等によっては、日本のアプリをダウンロードできない場合もあるの
で、その点も考慮が必要だと思う。

委員 ごみ分別の一覧表については、どのような内容であれば分かりやすいか等、今後
意見を聞きながら、反映できるよう検討する。また、「神栖市ごみ分別アプリ」につ
いても、ルビ表記等の対応可否を確認する。

委員 ごみの分別方法についても、例えばイベントやSNS等を活用して、クイズ形式の
ようなゲーム性を持たせた周知方法にすると、興味を持ち、楽しく知ってもらえるの
ではないか。

委員長 分からないことを共有することは大事だと考える。分からないままにしたり、
曖昧なままにすると、地域生活のルールから外れてしまうことになる。また、何より
も、分からないことを共有することで、コミュニケーションが生まれ、相互理解や
交流につながる。

委員 「基本方針2. グローバルな人材の育成」については、主に日本人市民を対象にし
ている取組のような印象を受けるが、多文化共生を推進する上で、国籍等で区別せ
ずに考える意識が大切だと考える。この点について、どのような想定をしているか。

事務局 いただいたご意見のとおりと考えております。当市には、45か国以上の出身者
が居住しており、海外にルーツを持つ児童、生徒も増えております。また、グロー
バルな人材というのは、多言語を話せるだけではなく、多様性を理解し受容できる
感覚も持ち合わせる人材であると考えております。そこで、国籍を問わず、当市に

いいん 委員	す すべ しみん たいしょう 住む全ての市民を対象に、このようなグローバルな人材育成を目指した取組を行っ ていきたいと ^{かんが} 考えております。
委員	かみすし ぎのうじっしゅうせいどう わかいせだい がいこくじん ひかくてきおお く いんしょう 神栖市には、技能実習生等、若い世代の外国人が比較的多く暮らしている印象が あるので、^{がっこうきょういく} 学校教育の中で行われている^{かいはつきょういく} 開発教育を、外国人市民向けにも実施し てみたらよいのではないかと思います。 さくねんど ふくし おとず さい がいこくじんしみん らいじょう 昨年度、かみす福祉まつりを訪れた際、外国人市民もたくさん来場していた。こ のイベントでは、^{しょうがい} 障害のある方々による^{かたがた} 発表や^{はっぴょう} 展示、また^{せいさん} 生産した^{のうさんぶつどう} 農産物等の^{はんばい} 販売 等が行われており、^{がいこくじんらいじょうしゃ} 外国人来場者は^{のうさくぶつ} 農作物を^{こうにゆう} 購入したり、^{はっぴょう} ダンスの発表を見たり 等、とても楽しんでる様子が印象的だった。これまでは福祉分野のイベントとい う認識であったが、^{ぶんか} 文化の違いだけではなく、^{さまざま} 様々な^{たようせい} 多様性について知るという^い 意味 では、^{たぶんかきょうせい} 多文化共生にもつながるイベントであり、今後、このような^{さまざま} 様々な^{ぶんや} 分野の^{きぞん} 既存 イベントも^{かつよう} 活用できるのではないかと思います。

8 その他

^{だい} 第2回 ^{かいめ} 目の ^{すいしんかいぎ} 推進会議は ^{がつげじゅん} 9月下旬に ^{かいさい} 開催する ^{よてい} 予定であることを ^{れんらく} 連絡しました。

9 閉会